

ひきつけ・けいれんを起こしたとき

❓ まず、どうすればいいの？ (けいれんが起きたら)

- 吐くことがあるので、詰まらないように顔を横に向けてあげましょう。
- けいれんが終わるまでは刺激をしない(無理に口を開けたり、頬をたたいたりしない)。ただし、まわりに危ないものがあるときは、安全な場所へ移動させましょう。
- けいれんの様子をよく観察しましょう。(けいれんしている時間など)

❓ それからどうすればいいの？ (けいれんがおさまったら)

- 楽な姿勢にしてあげましょう。 ●熱を測りましょう。
- 水分を与えるときは、しっかり意識が戻っていることを確認してからにしましょう。

しばらく様子を見ても大丈夫なとき

……→ 通常の診療時間内に受診しましょう

- けいれんが1回だけで、しかも5分以内に止まり、いったん目を開けて周囲の呼びかけに反応したり、泣いたりしたとき

❗ すぐに受診した方がよいとき

- けいれんが5分以内で止まらないとき
- けいれんのあとに繰り返して吐くとき
- 半日に2回以上けいれんが起きたとき。けいれんが終わっても、意識がはっきりしないとき(呼んでも目を覚まさない)
- 生後6ヶ月未満または5歳以上でけいれんしたとき



- 子どもは高熱をきっかけにひきつけを起こすことがありますが、ほとんどは数分でおさまります。2歳までの単純な熱性けいれんは、特に心配はありませんが、今後の予防について、かかりつけ医に相談しておきましょう。
- 発熱を伴わないひきつけ・けいれんがあった場合、ひきつけた原因を後日、専門医に診てもらいましょう。